

Data I/O 社製 Sprint シリーズ 和文マニュアル

以下の手順に従って、正しくプログラムをご利用ください。

1. はじめに

このマニュアルは、Data I/O 社製 Sprint シリーズのプログラマ (Plus48, Optima, Optima Light, Dual, Quad, Octal) を対象としています。

このマニュアルは、Plus48 と Dual を使用した時の画面表示に基づき作成されています。プログラマが異なっても基本的な操作内容は変わりませんので、予めご了承の上ご利用下さい。

目次

| | |
|--------------------------------|----|
| 1. はじめに | 1 |
| 2. お問い合わせ先..... | 2 |
| 3. TaskLink とプログラマのインストール..... | 3 |
| 4. TaskLink の起動・メニュー構成 | 5 |
| 5. データの読み込み/書き込み方法..... | 8 |
| 6. メンテナンス | 13 |
| 7. アルゴリズムファイルのアップデート | 17 |

注意事項**Electrostatic Discharge****Electrostatic Discharge (ESD) may cause damage. Discharge static electricity to a common ground.****Compressed Air****Point air hoses away from body. Always wear eye protection.****High Voltage****Do not remove covers. No user serviceable parts.****Radio Interference****This is a Class A product. In a domestic environment this product may cause radio interference in which case the user may be required to take adequate measures.****2. お問い合わせ先**

Data I/O 社製品に関する技術的なお問い合わせは、下記連絡先をお願いします。

(株)東陽テクニカ Data I/O 製品サポート担当

〒103-8284 東京都中央区八重洲 1-1-6

TEL : 03-3245-1246

FAX : 03-3246-0645

Email : dataio_support@toyo.co.jp

URL : <http://www.toyo.co.jp/sdp/>

3. TaskLink とプログラマのインストール

TaskLink のインストール

以下の手順に従い、TaskLink for Windows (以下、TaskLink) を CD-ROM から PC にインストールしてください。なお、TaskLink をインストールする時には、必ず管理者権限(Administrator)で PC にログインしてください。

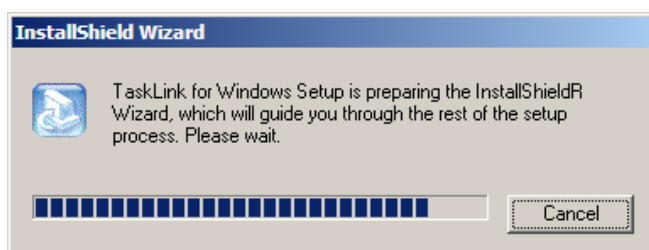
Sprint シリーズ用 TaskLink が動作する PC の最低必要条件

1. OS ----- Microsoft Windows 95/98/ME/NT/2000/XP
2. CPU ----- IBM 486 (または 互換性を有するもの) 66 MHz 以上
3. メモリ ---- 32MB 以上
4. HDD ----- 160 MB 以上の空きスペースがあること
5. ドライブ-- CD-ROM ドライブを有すること
6. I/O ----- マウス・キーボードが使用できること
(注 1) パラレルポートを有すること

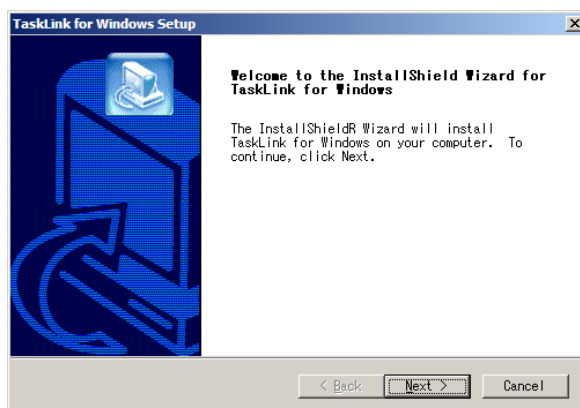


注 1 : パラレルポートを標準搭載している PC を必ず使用してください。USB-パラレルポート変換ケーブルなどは使用することができません。

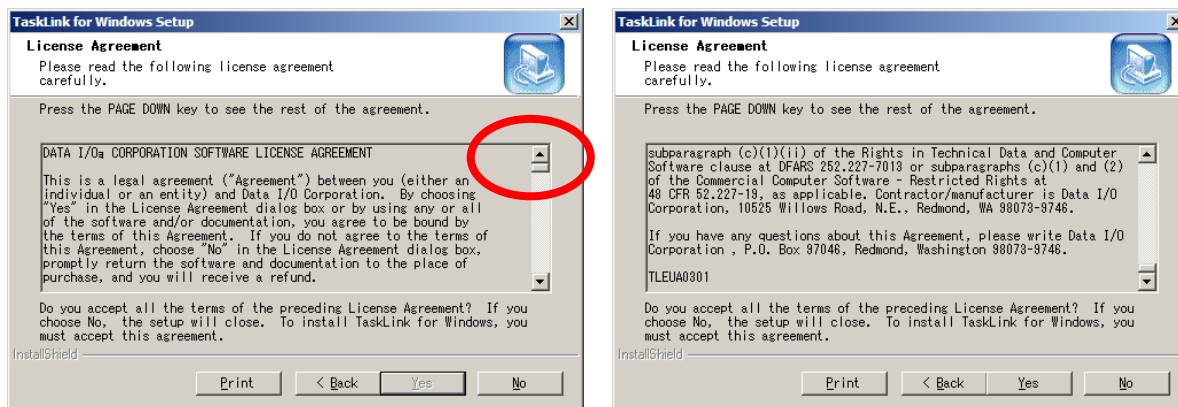
1. TaskLink CD-ROM を PC の CD ドライブに挿入します。「InstallShield Wizard」が自動的に起動します。「InstallShield Wizard」が起動しない場合は、マイコンピュータから TaskLink のアイコンをダブルクリックしてください。



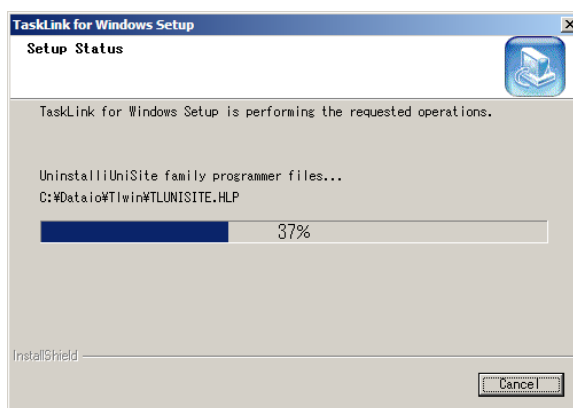
「TaskLink for Windows Setup」の「Next >」をクリックします。



2. 「License Agreement」の画面が表示されます。表示されている内容に合意していただける場合は、内容を一番下までスクロールしてください。一番下までスクロールした後、「Yes」をクリックします。なお、内容に合意できない場合は、「No」を選択してください。TaskLink のインストールが中断されます。



3. ファイルのコピーが自動的に開始されます。なお、TaskLink がインストールされるフォルダは、「X:\¥Dataio¥Tlwin」(X は Windows がインストールされたドライブ文字) です。

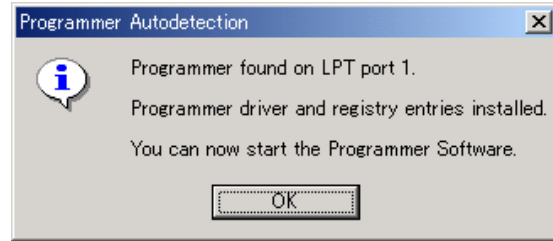


プログラムのインストール

4. PC のパラレルポートとプログラマを接続します。プログラマの自動認識を行ないますので、「OK」をクリックします。



5. プログラマとの接続に使用するプリンタポートが表示されます。「OK」をクリックします(注 1)。プログラマのドライバがインストールされたので、「OK」をクリックします。



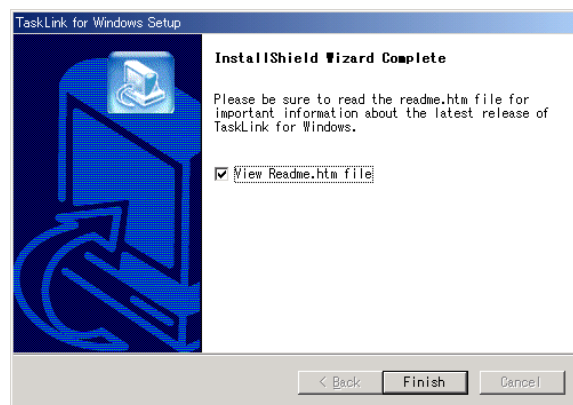
注1：プログラマの認識ができず、エラーメッセージが表示された場合、以下の事項をご確認ください。



確認事項

- ① 電源ケーブル、パラレルケーブル等の接続
- ② 電源の状態 (On/Off)
- ③ Power ランプの状態 (Plus48 のみ)
- ④ プログラマに TOP が正常に設置されていることを確認する (Plus48 以外)
- ⑤ デバイスやアダプタがプログラマや TOP のソケットに設置されていないことを確認する。

6. 「Finish」をクリックします。



4. TaskLink の起動・メニュー構成

1. デスクトップのアイコンをダブルクリックし、TaskLink を起動します。

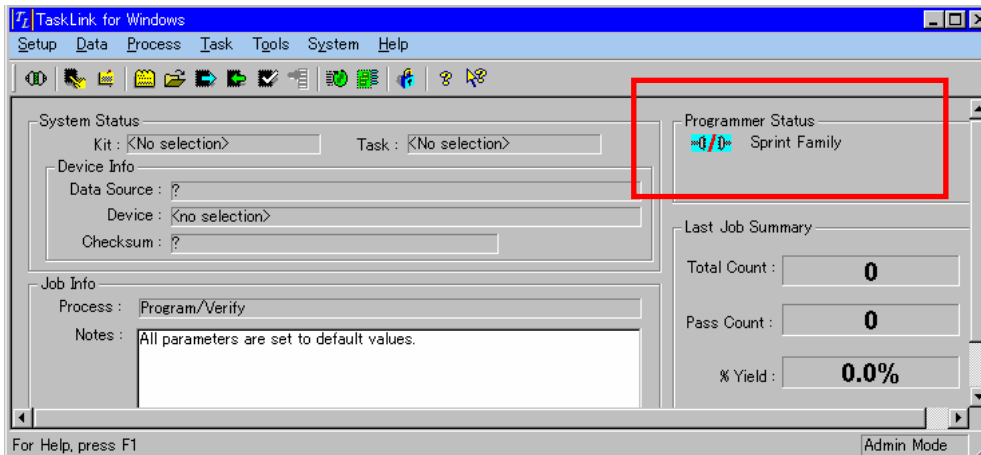


2. 各メニューバーの構成は、以下の通りです。

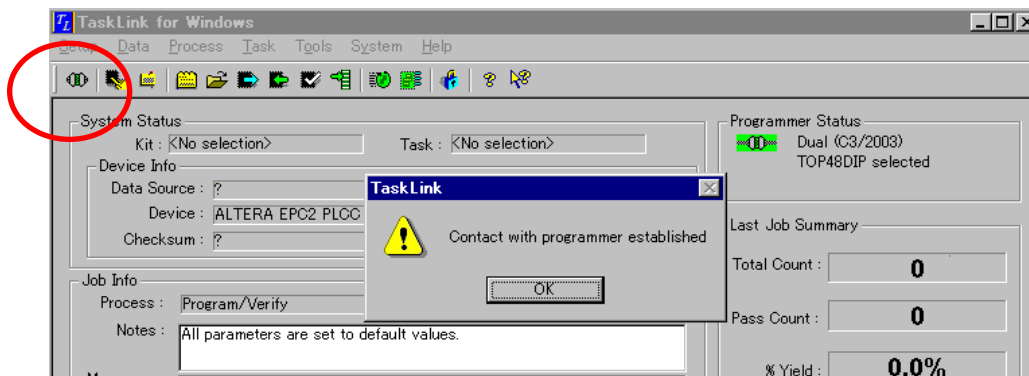


| TaskLink | | |
|----------|---------------------------------|-------------------------------------|
| Setup | Select Device | デバイス選択 |
| | Programmer Properties | プログラミング関連の操作に関するパラメータ設定 |
| | Restore Defaults | 各パラメータのデフォルトに強制設定 |
| | Session Data Logging. | Log ファイルの設定 |
| | Exit | 現在の TaskLink を終了 |
| Data | Load RAM from PC files | データファイルを RAM に読み込み |
| | Save RAM to PC File... | RAM にロードされているファイルのディスクへの保存 |
| | Fill RAM.. | RAM の指定アドレス範囲を指定パターンに埋め込み |
| | Byte Swap | RAM の Low アドレスと High アドレスのデータの Swap |
| Process | Load Master | ソケットに挿入したデバイスからのデータの読み込み |
| | Blank Check | ソケットに挿入したデバイスのブランクチェック |
| | Program / Verify | ソケットに挿入したデバイスへのプログラム/ベリファイ |
| | Verify Only | ソケットに挿入したデバイスデータと RAM 内とのベリファイ |
| Task | Run.. | タスクの実行 |
| | Task/Kit Manager.. | タスクの作成、編集、追加 |
| | Task Database Device Check | タスク内データベースのデバイスチェック |
| | Run Batch File | バッチファイルの実行 |
| Tools | Device Database Update | デバイスデータベースのアップデート |
| | Create Device List | デバイスリストの作成 |
| | Change Tops and/or Adapters TOP | モジュール、アダプタの交換 |
| System | Select programming System | プログラムの設定 |
| | System Security | セキュリティの設定 (管理者モード、オペレータモード) |
| | Printer Setup | プリンタの設定 |
| | Set Message Editor | メッセージエディタの設定 |
| | Simulation Mode | シミュレーションモードの設定 |
| | Options | その他のシステムパラメータの設定 |
| Help | Help Topics | ヘルプ |
| | Technical Support | 技術サポート問合せ |
| | On-line documentation | On-line ドキュメンテーション |
| | Data I/O on the Web | Data I/O (US)のホームページへの各リンクアドレス |
| | About TaskLink | タスクリンクのバージョン参照 |

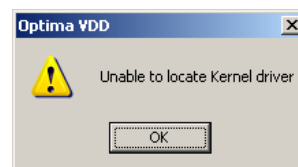
3. 以下の初期画面が表示されます。「Programmer Status」でプログラマは接続されていないことを確認できます。



4. デバイスやアダプタがプログラマや TOP のソケットに設置されていないことを確認し、画面左上の「Establish Contact」のアイコンをクリックしてください。以下のメッセージが表示されれば、プログラマと接続が完了したことを示します(注 2)。



注 2：プログラマと接続ができず、エラーメッセージが表示された場合、以下の事項をご確認ください。ご確認後、PC を再起動し、接続を確認して下さい。(TaskLink のみの再起動では接続できません。)



確認事項

- ① 電源ケーブル、パラレルケーブル等の接続
- ② 電源の状態 (On/Off)
- ③ Power ランプの状態 (Plus48 のみ)
- ④ プログラマに TOP が正常に設置されていることを確認する (Plus48 以外)
- ⑤ デバイスやアダプタがプログラマや TOP のソケットに設置されていないことを確認する。

5. データの読み込み/書き込み方法

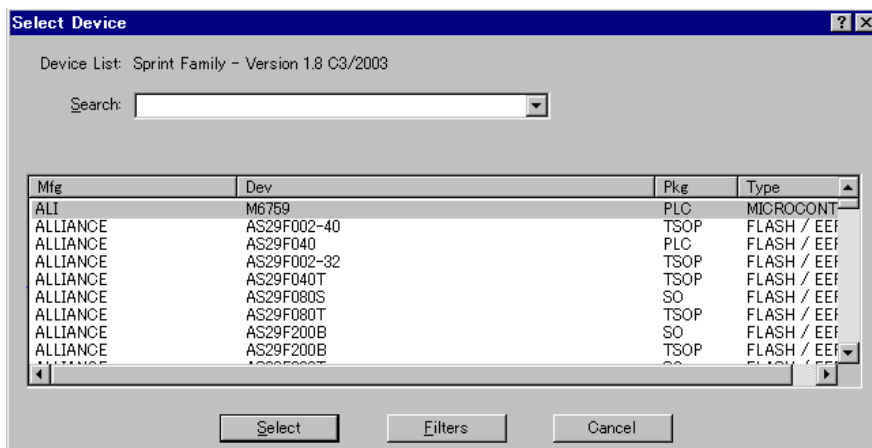
ご用意していただくもの

1. プログラマ ----- Plus48、Optima、Optima Light、Dual、Quad、Octal のいずれか
2. PC ----- TaskLink がインストールされていること
3. デバイス ----- 読み込み/書き込み対象
4. アダプタ ----- デバイスに対応したもの
5. その他 ----- バキュームツール、ブースターなど
(注 3)

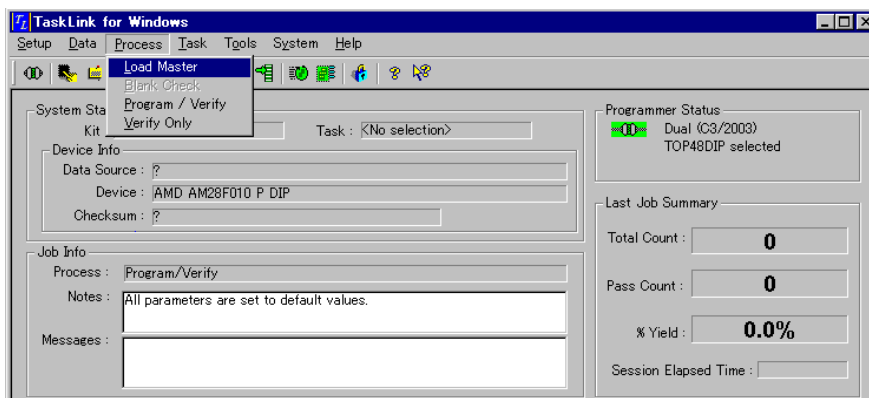
注 3 : TaskLink のインストールに必要な TaskLink CD-ROM、ブースターは、本体のご購入時に標準で付属しています。

マスターデバイスからのデータの読み込み

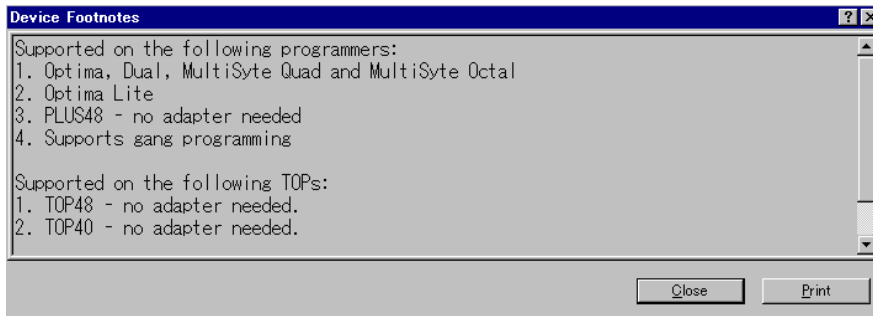
1. デバイスの製造会社とモデルをスペースで区切って入力します。書き込み対象のデバイスをクリックして選択し、「Select」をクリックします。



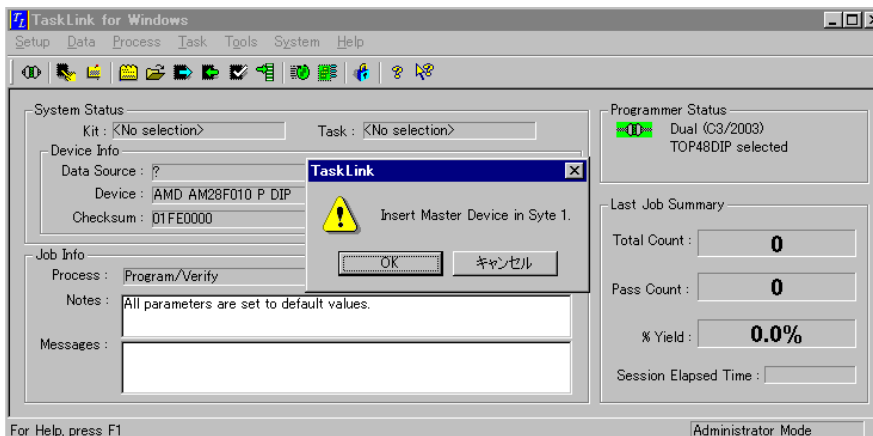
2. デバイスのデータを RAM に読み込み(Load)ます。TaskLink のメニューから、「Process > Load Master」をクリックします。



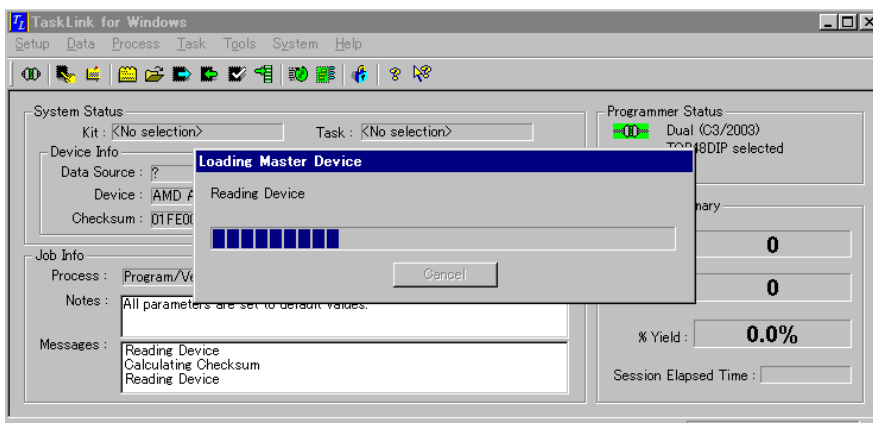
- Device Footnotes(デバイスに応じた書込み時の注意事項)が表示されます。Device Footnotes に表示されているアダプタが、プログラマに設置されていることをご確認し、「Close」をクリックします。



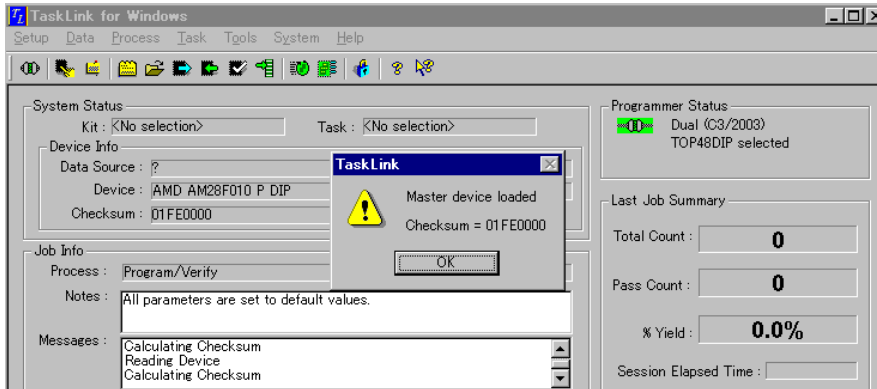
- マスターデバイスをソケットにセットしてください。プログラマ正面から見て左側のソケットから「Syte1」、「Syte2」、「Syte3」、「Syte4」となります。「Syte」とは、TOP を意味します。マスタソケットへデバイスを挿入して、「OK」をクリックしてください。



- デバイスからデータの読み込みを開始します。プログラマがデータを読み込んでいる間、プログラマの「STATUS」のLEDはオレンジ色に点灯します。

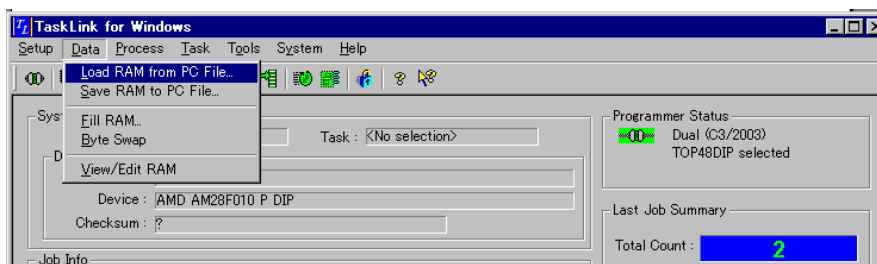


- データの読み込みが完了すると、チェックサム値が表示されます。正常にデータの読み込みが完了したら、データのチェックサム値が表示されます。チェックサム値が正しいことを確認したら、「OK」をクリックしてください。

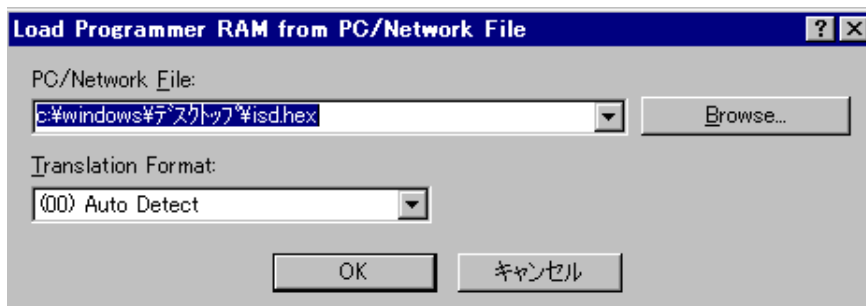


データファイルの読み込み

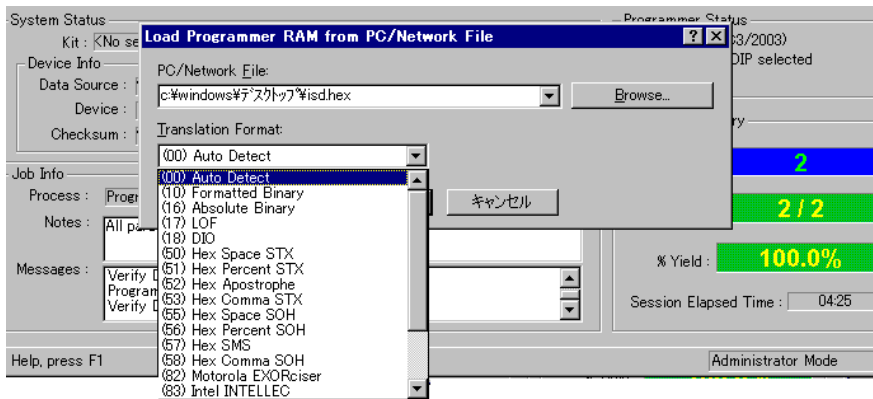
- 書き込むデータをデータファイルから読み込む場合は、TaskLink のメニューから「Data > Load RAM from PC files」をクリックします。



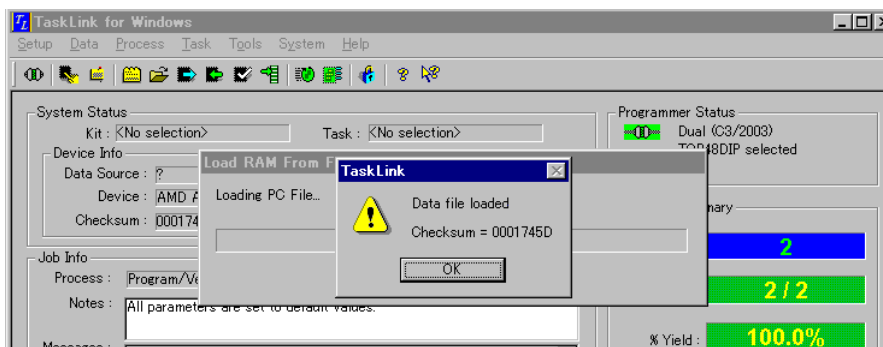
- データファイルを指定します。「Browse」をクリックし、書き込むデータファイルを選択してください。データファイルのフォーマットが不明な時は、「(00) Auto Detect」を指定します。可能な限りデータファイルのフォーマットを設定して下さい。「OK」をクリックします。



- データファイルを指定します。「Browse」をクリックし、書き込ファイル名とフォーマット名が決まりましたら、OK をクリックして下さい。

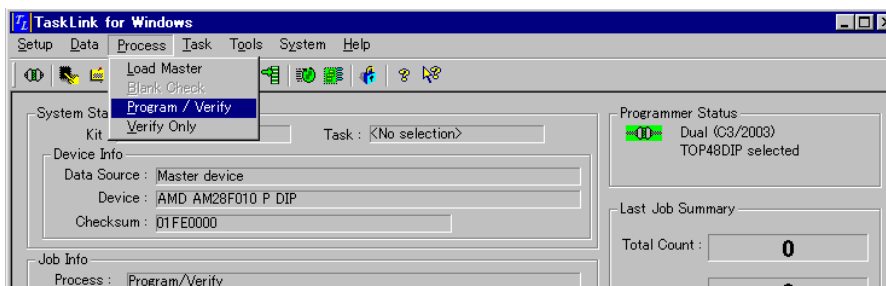


10. データファイルのチェックサム値が表示されます。データファイルの理論上のチェックサム値と、表示されているチェックサム値が一致することを確認し、「OK」をクリックします。

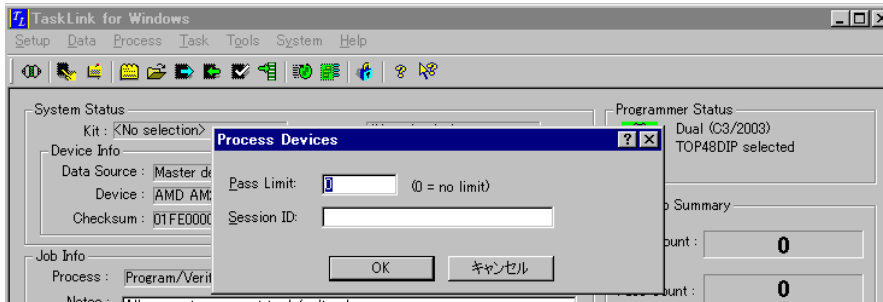


データの書き込み

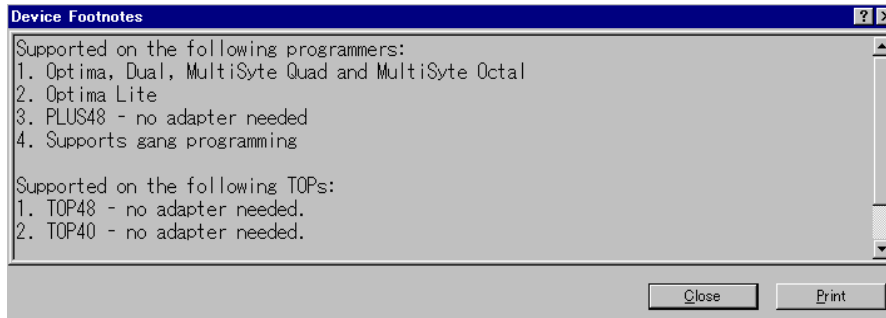
11. マスターデバイスを取り外します。マスターデバイスと書き込み対象のデバイスが異なる場合、書き込み対象のデバイスを選択する必要があります。TaskLink のメニューから「Process > Program / Verify」を選択します。



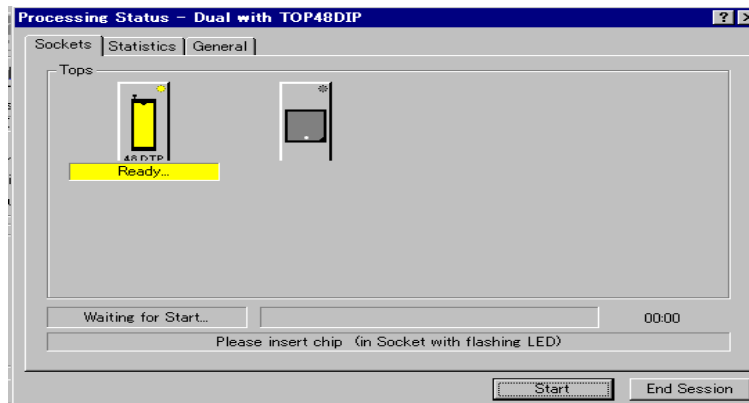
12. Pass Limit に書き込み個数を入力します。「0」の場合、書き込み個数は指定されず、「Program / Verify」を繰り返します。「OK」をクリックしてください。



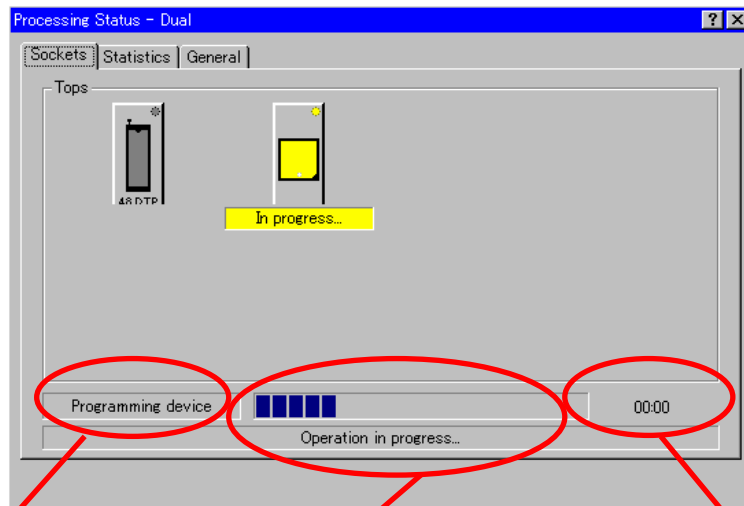
13. Device Footnotes(デバイスに応じた書込み時の注意事項)が表示されます。Device Footnotes に表示されているアダプタが、プログラマに設置されていることをご確認し、「Close」をクリックします。



14. 書き込み対象のデバイスをソケットに設置します。黄色に点滅している「Syte」のみ書込みが行なわれます。デバイスを設置するときは、デバイスの1番ピンの位置が正しい位置になるように注意して設置してください。「Start」をクリックします。



15. デバイスヘータの書込みを開始します。プログラマがデータを書込んでいる間、プログラマの「STATUS」のLEDはオレンジ色に点灯します。

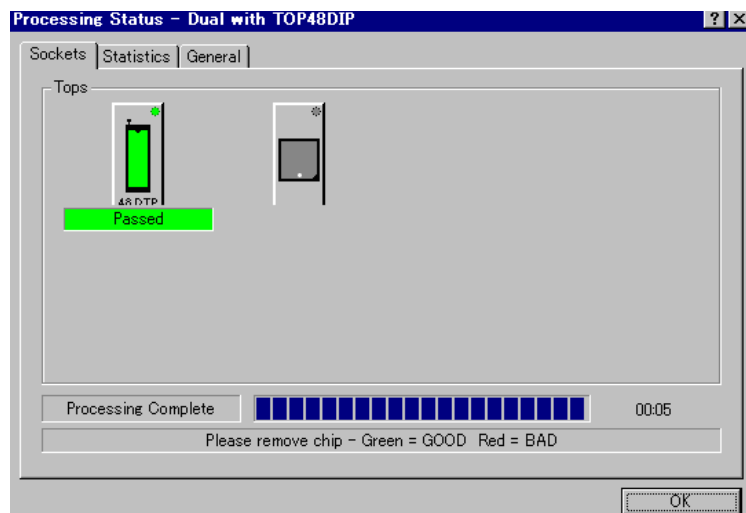


実行している処理内容

作業の進行状態

Start してからの処理時間

16. データの書き込みが終了したら、「Passed」または「Failed」と表示されます。「Passed」（緑色）は、データの書き込みが正常に終了したことを示します。「Failed」（赤色）はデータの書き込みが正常に行なわれなかったことを示します。



17. 以上で書き込みは終了です。「OK」をクリックします。引き続き、書き込みを行なう場合は、デバイスを交換後に再度「Start」をクリックすることで、データの書き込みが可能です。

6. メンテナンス

ハードウェアのセルフテスト

以下の手順に従って、プログラムのセルフテストを行い、ハードウェアに異常がないことを確認してください。

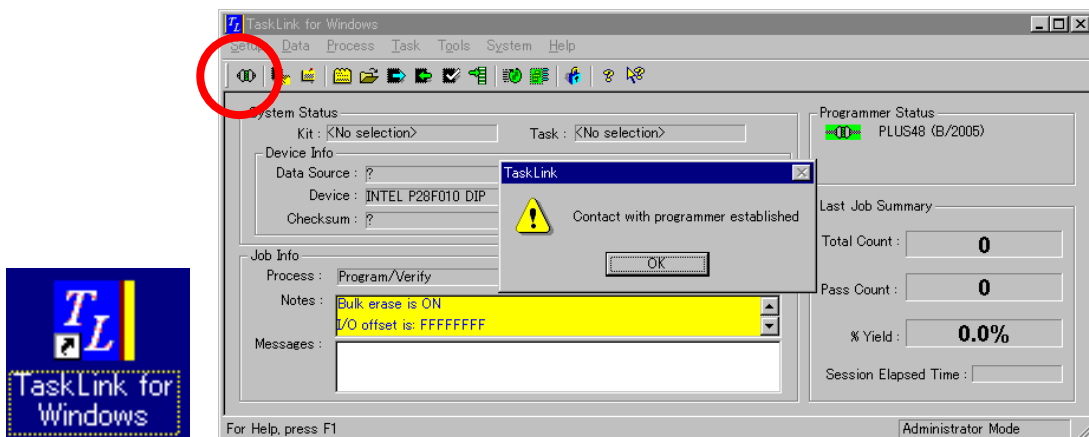
1. Plus48 に AC アダプタと電源ケーブルを接続します。次に、25 ピン D-Sub ケーブルと PC のプリンタポートを接続します。電源スイッチを ON にします。



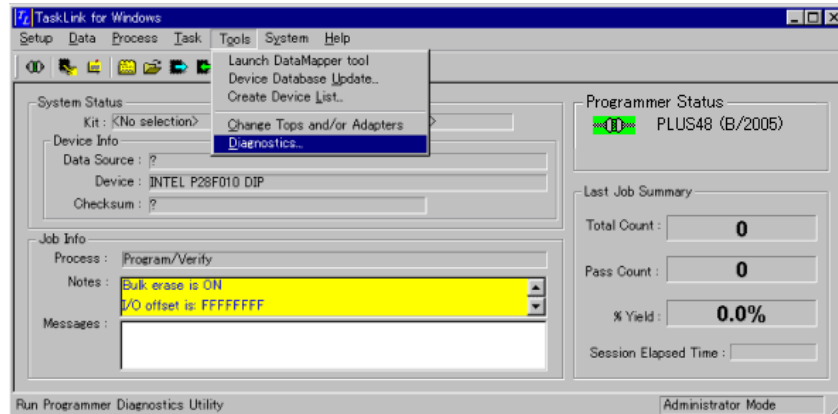
2. Plus48 の「POWER」の LED が赤色に点灯することを確認します。「POWER」の LED のみが赤色に点灯することを確認します。



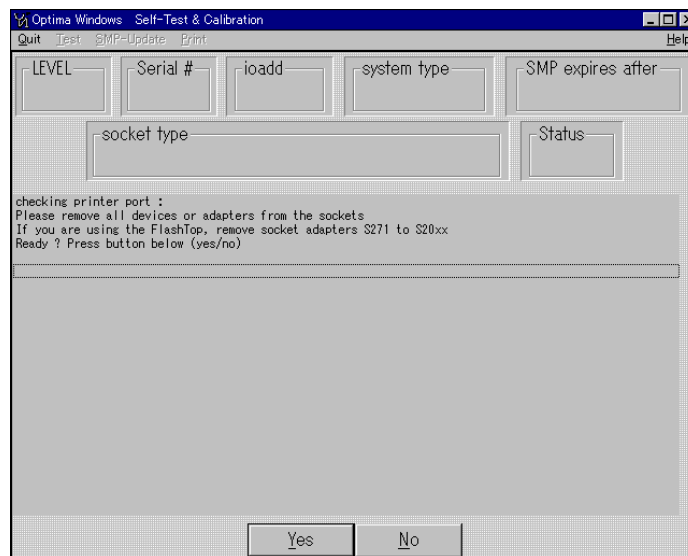
7. TaskLink を起動します。「Establish Contact」アイコンをクリックします。「Contact with programmer established」と表示されることを確認します。また、「Programmer Status」のアイコンが緑色になり、本体のモデルコードとアルゴリズムのバージョンが表示されることを確認します。「OK」をクリックします。



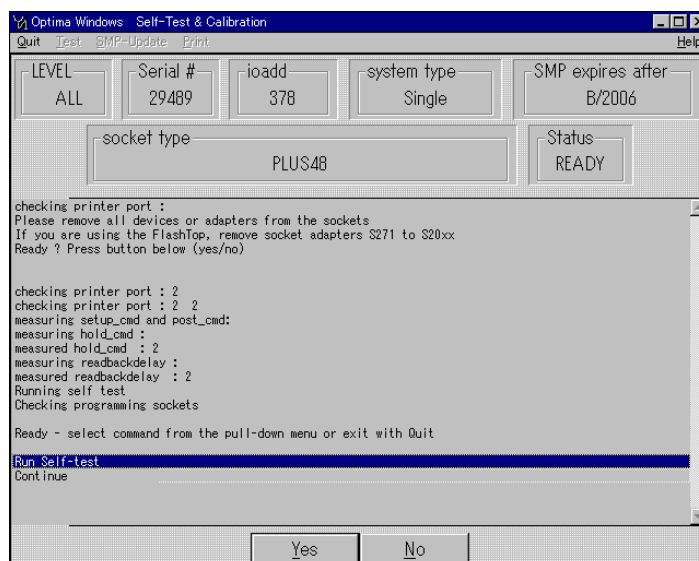
8. TaskLink のメニューから、「Tools」 > 「Diagnostics」 を選択します。



9. 以下の画面が表示されます。「YES」 をクリックしてください。



10. 以下の画面が表示されます。「Run Self-test」 をクリックしてから、「YES」 をクリックしてください。



11. 自動的にセルフテストが実行されます。セルフテストの途中で Plus48 の「STATUS」の LED が、緑色・赤色・橙色の順に点灯することを確認してください。



緑色

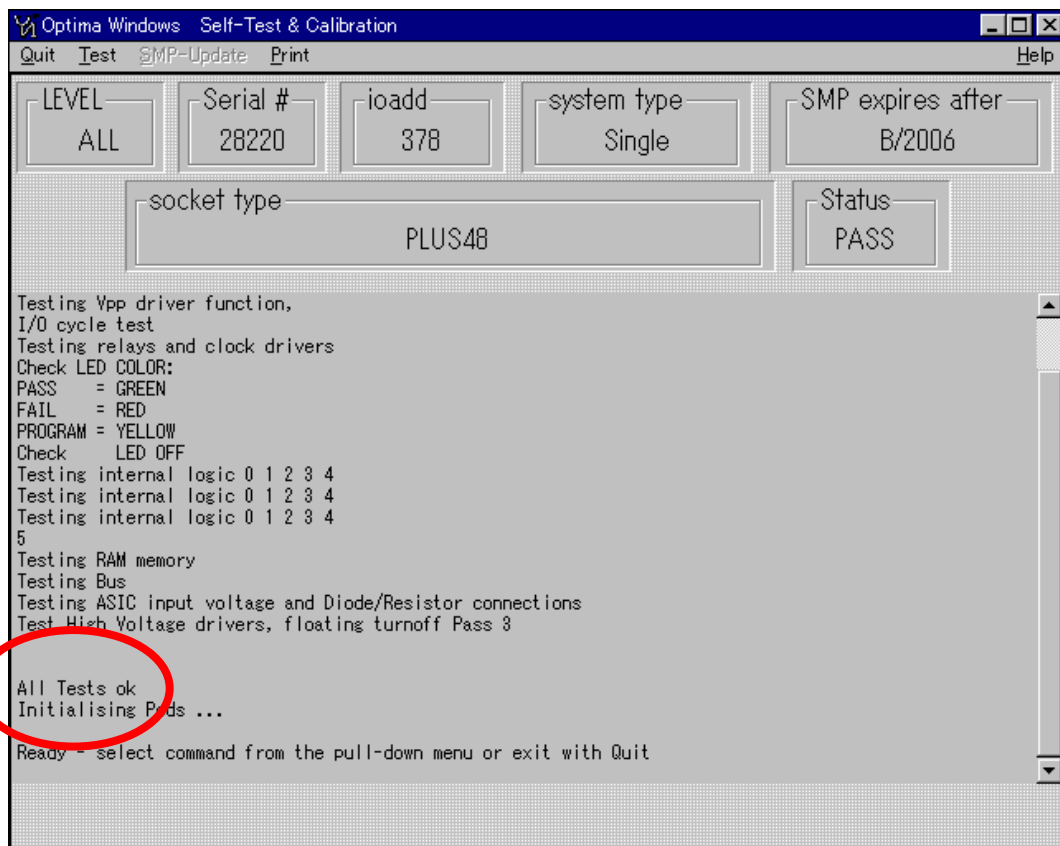


赤色



橙色

12. セルフテストが完了するまで約 15 秒待ちます。画面に「All Tests ok」と表示されることを確認します。



13. 画面右上の「×」をクリックします。以上でセルフテストは終了です。

7. アルゴリズムファイルのアップデート

注意事項

アップデート中はプログラムの電源を絶対に切らないでください。
アップデート中に電源が切れると、プログラマに深刻なダメージを
与える可能性があります。細心のご注意をお願いいたします。

1. TaskLink CD-ROM から最新版の TaskLink をインストールします。インストール後は、PC の再起動を必ず行ってください。
2. 最新のアルゴリズムを以下のアドレスから定期的に入手して(注 4)、常に最新の状態に保ってください。

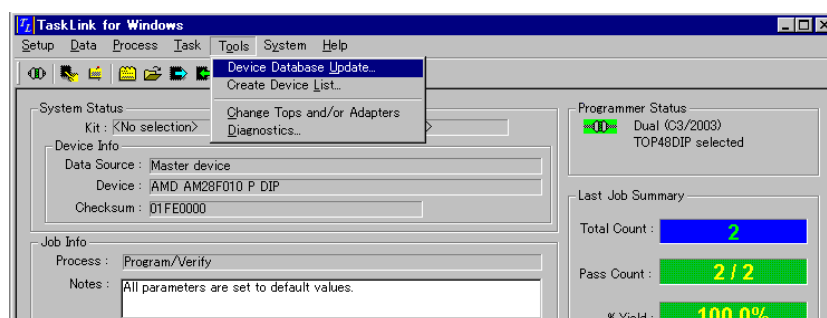
URL : <http://www.dataio.com/algorithms/sprint.asp>

opt_nt.exe 全デバイスタイプ対象の更新ファイル(年 3 回)
paintzip.exe PLD、CPLD、FPGA 対象の更新ファイル(8 日毎)
prsnzip.exe メモリ、マイコン対象の更新ファイル(8 日毎)
pr4ntzip.exe TOP432 用デバイス対象の更新ファイル(8 日毎)

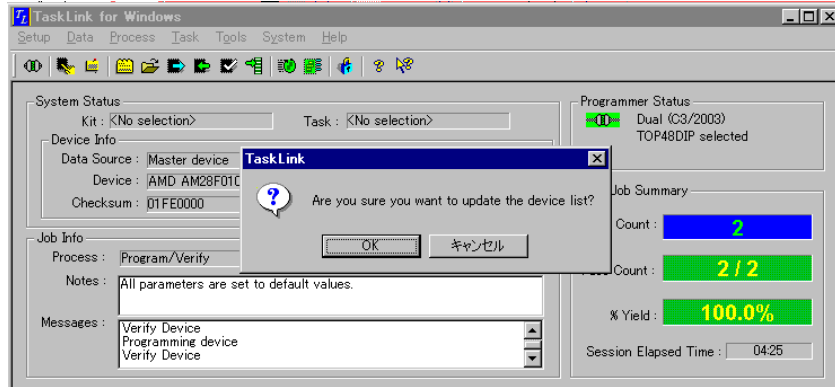
注 4 : PC の OS に対応したファイルをダウンロードしてください。

| ▶ Download the latest Sprint algorithms here: | DOS | Windows 9x | Win2000/NT/XP |
|---|------------------------------|------------------------------|------------------------------|
| Released Algorithms; all device types | opt_dos.exe | opt_win.exe | opt_nt.exe |
| Interim-Release Algorithms for Logic Devices | paldzipo.exe | palwzipo.exe | palntzip.exe |
| Interim-Release Algorithms for Memory Devices | prsdzipo.exe | prswzipo.exe | prsnzip.exe |
| Interim-Release Algorithms for TOP432 | pr4dzipo.exe | pr4wzipo.exe | pr4ntzip.exe |
| Interim-Release Optima TEST | tstdzipo.exe | tstwzipo.exe | tstntzip.exe |

3. 上記 4 つのファイルをご入手しましたら、TaskLink をインストールしたフォルダに 4 つのファイルをコピーします(注 5)。ファイルをダブルクリックすることにより、4 つのファイルを自己解凍して下さい。TaskLink がインストールされるフォルダは、「X:\¥Dataio¥Tlwin」(X は Windows がインストールされたドライブ文字) です。
4. デバイスリストのアップデートを行います。プログラマを接続し、TaskLink を起動します。メニューバーから Tools > Device Database Update を選択します。



5. デバイスリストのアップデートするために、「OK」をクリックします。



6. デバイスリストのアップデートを開始します。完了するまでしばらく時間がかかります。完了しましたら、右上の Programmer Status が変更されたことを確認して下さい。

